

■ 環境心理生理運営委員会 議事録（案）

日時：2010年11月18日 17:00～19:00

場所：建築学会 305 会議室

出席者：大井尚行、讃井純一郎、宗方淳、大野隆造、西名大作、秋田剛

報告事項

(1) 時期運営委員会主査の選出結果

- ・松原斎樹先生が選出された。

(2) 環境工学本委員会報告

<報告事項>

- ・仙田日本学術会議委員からの書簡
→ こどもの成育環境に関する委員会設置の依頼。
- ・会員外委員についての申し合わせ
→ 様式が送られてくるので、会員外委員予定があれば提出する。

<審議事項>

- ・文化賞業績候補 → 推薦なし
- ・学会賞（論文部会）選考委員会委員候補（3月4日締切）
→ あれば1月までに事務局へ
- ・奨励賞選考委員会委員候補（3月4日締切）
→ 40才以上で。音環境・都市環境に推薦を依頼
- ・災害委員会委員推薦依頼（3月31日締切）
→ 熱環境に推薦を依頼
- ・2011年度大会（関東）研究協議会
→ これからの大都市の安全・安心と環境工学の役割
- ・2011年度大会（関東）研究懇談会
→ 環境工学研究の最前線と分野連携 ―自然・生態環境と人工環境（ビルトエンバ
イランメント）のの融和に向けて―
→ 昔の環境工学シンポジウム相当。全運営委員会が参加。
- ・大会学術講演梗概の原稿執筆要領に関して
→ 連報の場合、各編が独立した内容であることを確保するために、構造部門と同じ
表記を応募要項に載せることとなった。
- ・シンポジウム実施報告、実施計画
→ 4月以降、「登録メンバー」がなくなる。

- 実施計画書は、完全に決まっていなくても（何月開催、くらいまで決まっていれば、日時、講演者などの詳細が決まっていなくても）、早めに提出する。細部については、その後、委員長と幹事で承認する流れとする。
 - ・予算執行について
 - 1月末に執行状況をまとめる。3月に委員会開催の場合は、事務局に相談する。
 - ・次回2月21日、次期各運営委員会主査も選挙に参加。時間未定
- (3) その他
- ・特になし

審議事項

(1) 大会関係（2010年度～2011年度）

- ・次年度オーガナイズド・セッションに関する検討
 - 調査や実験をしていなくても、概念・レビュー的な論文でもよい。
- ・次年度研究懇談会についての検討
 - 基本的には次期主査の担当だが、前回のスタイル（運営委員会と小委員会の主査の連名）ではどうか。
 - 原稿締切が7月頃と思われるので、次回の運営委員会で再検討することとなった。
 - 研究協議会に関しては、現状では環境心理生理運営委員会はあまり関係ない様子。

(2) シンポジウム等企画

- ・第9回感覚・知覚心理シンポジウム（11月20日）
 - 参加申し込みは60名程度。
- ・新規企画について
 - 感覚・知覚心理小委員会、2011年5～6月にできれば。
 - ヒューマナイジング小委員会、模索状態。
- ・計画系等との連携について
 - 40歳以下の人たちによる特別委員会を作る話が、計画系であったらしい。

(3) 出版関連

- ・「用語集」進捗状況
 - 大井先生と山田先生の間で進行中。査読を受ける必要あり。
- ・「調査のデザイン」進捗状況
 - 原稿が出版社に行っている状態。
- ・新規企画に向けて
 - 「人間環境学」は、95年頃の出版なので、そろそろ改訂版を出すべきでは。

(4) 中長期計画と次期体制

- ・次期運営委員会委員候補について
 - 運営委員会委員の人数制限はない。
 - それほど数を増やさなくてもよいのでは、との意見があった。
- ・2011年度以降の小委員会活動計画の確認と中長期の体制イメージ
 - ヒューマナイズ小委員会は現在 10 名。5 名分席が空いているので、2011 年度から新たにメンバーを入れる予定。

(5) その他

- ・予算使用計画について 11 月 15 日現在残額
 - 環境心理生理運営委員会 86,940
 - ヒューマナイズ小委員会 9,798
 - 感覚・知覚心理小委員会 44,805
 - 環境心理小委員会 73,488

次回日程

2 月 21 日（月）17 時～ （ただし、環境工学委員長選出選挙後）